選定手順

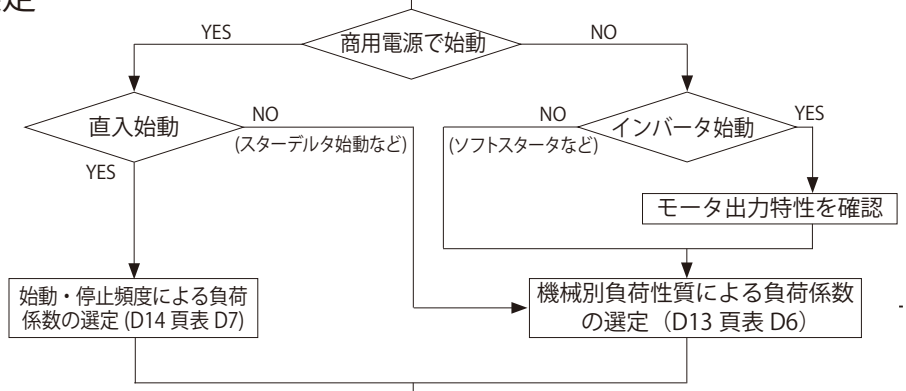
次のフローチャートを参考に、機種選定を実施して下さい。選定方法について分からない場合は、ご照会ください。

Step1 : 使用条件の決定

選定を始める前に、次の条件を決定して下さい。

- 用途
- 連続運転か、または起動・停止が頻繁に行われる運転か
- 電源は直入れか、スターデルタ始動やインバータ駆動か
- 負荷トルク T_L
- 周囲条件（使用環境）
- 1 日あたりの運転時間
- 衝撃荷重の度合い
- 取付方向（低速軸方向）、取合形状
- ラジアル荷重、及びスラスト荷重

Step2 : 機種選定



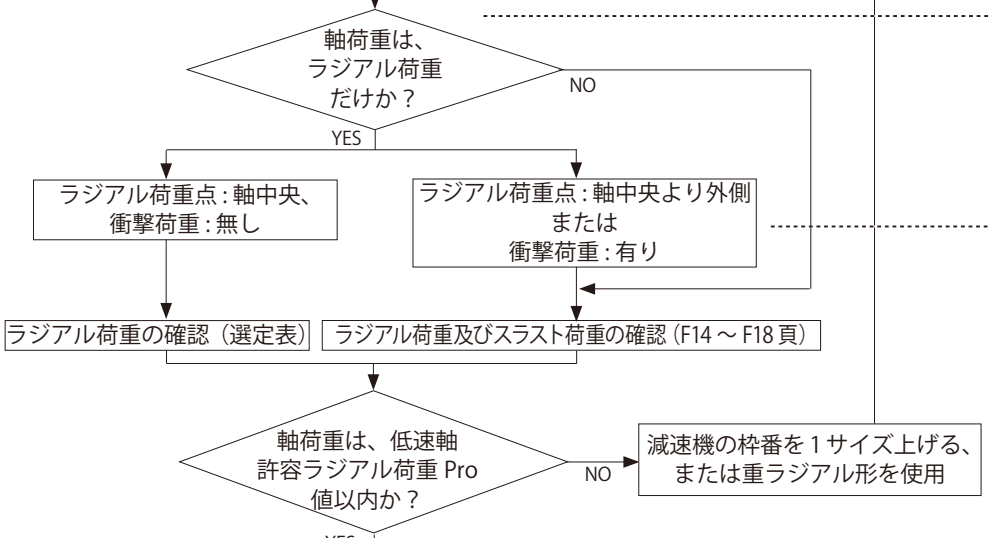
出力回転数、減速比の選定

実伝達トルク T_{Ln}の計算 $T_{Ln}=T_L\times$[負荷係数]

T_L: 負荷トルク

減速機枠番の決定
実伝達トルク T_{Ln} ≦減速機の許容出力トルク T_{out}

Step3 : 確認



低速軸方向、取付方法、潤滑方式の確認

寸法の確認

周囲条件の確認

Step4 : 形式決定・完了

形式の決定・選定完了

低速軸と連結器の強度を確認（キー面圧等）

選定手順

用語の説明
・使用環境パッケージ 環境 3 要素（水・腐食・粉塵）を防ぐレベルを選ぶだけで、仕様が決まるようパッケージ化したもの（B7 頁参照）。

手順の説明
・D13 頁より、用途に合った負荷係数を選定してください 。 ・始動・停止を繰り返す運転の場合は、D14 頁の始動・停止頻度と減速機の負荷係数を確認してください。
・選定表より、ご使用の出力回転数または減速比に近い値が記載されている欄を選んでください。
・負荷トルクと負荷係数より、実伝達トルクを計算します。
・計算した実伝達トルクよりも大きい許容出力トルクを持つ枠番・減速比を、選定表から選んでください。
・減速機の低速軸にかかる荷重は、ラジアル荷重だけか確認ください。スラスト荷重もかかる場合は、技術資料 F16 頁を参照し、計算してください。
・ラジアル荷重が低速軸のどの部分にかかっているか、また衝撃荷重の有無によって、技術資料 F14 頁の係数を参照し、換算してください 。 ※ 1. 選定表の低速軸許容ラジアル荷重は、荷重位置が軸中央 の場合の値です。 ※ 2. チェーン、V ベルト、歯付ベルト等で初期張力を与える場合には、ラジアル荷重にこれらの影響を含めて算出してください。
・計算したラジアル荷重が、低速軸許容ラジアル荷重を超えていないか、確認してください。
・選定した組合せが、お使いの低速軸方向、取付方法、潤滑方式に対応できているか、確認してください。
・寸法を確認してください。お客様のご使用の条件に合わない場合は、ご照会ください。
・選定した組合せが、周辺の環境などの条件に合っているか、D4 頁の「標準仕様」で確認ください 。 また B7 頁の「使用環境パッケージ」を指定してください。
・選定した機種について、D6 頁の「形式」をご参照の上、形式を決定してください。以上で機種選定は完了です。
・起動・停止時の最大トルクで確認してください。